

誓いのいしづば

大木 優弥さん (横芝地区)



本日、成人の日を迎えた私達の門出に対し、このような盛大な式典を催していただき、まことにありがとうございます。

また、お祝いや激励のお言葉をいただきました。齊藤町長様をはじめご来賓のみなさまに、新成人を代表して心より御礼申し上げます。

そして、今日まで私たちと関わりあい、私たちを育て、励まし、ご指導いただきました。家族や先生方、地域のみなさまに、本日私たちが無事成人式を迎えたことをご報告するとともに、感謝の気持ちを今、新成人一同、あらためて強く

していることをお伝えしたいと思います。

今、日本の経済は東日本大震災からの復興、そして再び世界を牽引する国家へと回復するために着実に歩を進めています。私たち新成人はこの復興の時代を担っていかねばなりません。成人したとはいえまだまだ未熟な私たちでは時代を担うことは容易い事では無いでしょう。しかし、私たちは人として成長するためのたくさんの時間を持っています。この膨大な時間のなかで様々な困難を乗り越え、自らの目標を持ち、その実現に向けて努力し、一人前の社

会人として成長していきたいと思えます。

よい時代というのは一人の力では創れません。社会を担う者すべてが創ってゆくものだと思います。社会を担う権利そして責任はすべての人に平等に与えられています。私たちはその権利と責任をしっかりと理解し、次の世代によりよい形でバトンをわたす事が果たすべき使命だと考えます。

ようやく社会に踏み出したばかりで、力不足の私たちではありますが、私たちに仲間という素晴らしい財産があります。仲間の存在があったから、私も今日この日を迎えることができたと思っています。これからも仲間の存在は人生を歩むための糧となっていくでしょう。自分を支えてくれる仲間へ感謝し、共に支えあいながら、地域の役に立つような社会人になることを固くお約束して、誓いの言葉とさせていただきます。

